国連憲章 80 周年：
勇気を再燃させ、目的を取り戻す

1945 年 6 月 26 日、世界の諸国は国連憲章に署名しました。それは平和な時代ではなく、戦争の廃墟の中でのことでした。挑戦と希望の行為でした。

80 年後の現在、その希望は試されています。

私たちは、国連の約束、その脆さ、そして効果を目撃してきた元国際公務員です。

現在、私たちが誓った原則は、体系的に攻撃されています。

戦争が激化しています。独裁主義が蔓延しています。事実がプロパガンダに埋もれています。若者は排除と絶望に直面しています。

これは単に国際法を無視する問題ではありません。法の支配が、一片ずつ、規範ごとに体系的に解体されているのです。

国連は安全保障理事会を超えています。労働者を保護する条約、ワクチンを配布する機関、虐殺を防止する平和維持軍。これらの成果は容易に得られたものではありません。一夜にして消え去る可能性があります。

この記念日は、式典ではなく、責任の追及を求めます。

私たちは道徳的な明確さを求めます。憲章の価値観への回帰：平和、人権、法の支配、人間としての尊厳への信仰。真実ではなく嘘、腐敗ではなく正直さ、沈黙ではなく連帯への新たなコミットメント。

この国際秩序が崩壊する時 - 緊急の行動がなければ、それは起こるでしょう - それを再建するには世代を要するでしょう。

私たちは、国際法の強化、紛争の予防、世界的な金融システムの変革を呼びかけます。これにより、誰もがどこにいても機会を得られるようにし、不平等を永続させないためです。

若者は私たちの行動を必要としています、謝罪ではありません。これが私たちの世代の試練です。

国連の元高官と世界中の国際公務員によって署名されました。

Disclaimer: Every effort has been made by signatories to this Call to translate the original text into various languages and thus bring it closer to a larger number of people around the world. Apologies in advance for any unintentional mistakes. In case of doubt, please compare to the original Call in English, which is available at https://www.foggs.org/prg/call-un-charter-at-80